

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 7 年 3 月 3 日 回収率 100% 事業所名:児童発達支援・放課後等デイサービス すこっぷ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	課題や改善すべき点を踏まえた
						改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である。	6	0	0	0	法令を遵守し、運動のできるスペースを確保している。長期休暇など利用児が集中してしまう日は、外出などの活動を取り入れる様にする。
	2 職員の配置数や専門性は適切である。	6	0	0	0	法令で定められている配置数で対応している。児童指導員、精神保健福祉士、保育士。
	3 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされている。	3	2	0	0	既存のエレベータを設置しており、段差や凹凸が出来るだけ無い状態を確保している。今後滑り止めマットを検討。
	4 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	0	0	0	活動の後に玩具等の消毒を行っており、毎日、カーペット、ドアノブ、階段手すり等の除菌消毒を実施している。
	5 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。	4	2	0	0	視覚支援を活用して、物の位置を表示したり個人のスケジュールを掲示するなどして環境設定を行なっている。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクルに広く職員に参画している。	4	1	1	0	必要な業務改善は月 1 回のミーティングで話し合っている。参加できない職員には議事録で周知している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	6	0	0	0	年 1 回の評価表の後に、職員間で共有し、業務改善を行っている。
	8 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと共に、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	4	1	1	0	ホームページで公開している。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	6	0	0	0	第三者評価者を設けていない。
	10 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	6	0	0	0	研修を受けた職員が、研修報告書を提出し、内容の共有を行っている。
	11 (報・連・相)を意識した情報共有を職員間でできている。	4	2	0	0	毎日、ミーティングをおこない、日誌に記録し、参加できない職員にも周知している。
適切な支援の提供	12 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	6	0	0	0	保護者や子どもの意見や思いを聞き取り個別支援計画の作成を行っている。
	13 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	6	0	0	0	より標準化されたアセスメントツールがあれば活用していきたい。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている。	5	1	0	0	児発、放デイそれぞれの担当職員が、活動プログラムを検討して活動を提供している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	
15	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	6	0	0	0	事業所として取り組める支援目標の5項目11領域についての支援内容で取り組んでいる。
16	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	6	0	0	0	月毎に、プログラムを変えるだけではなく、その日の子どもの特性や、様子に応じて固定しないように変えている。
17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	6	0	0	0	支援開始前には、前日の子どもの様子を振り返り、配慮や留意事項を確認しながら打ち合わせを行っている。
18	子どもの特性を考えた支援をおこなっている。	6	0	0	0	子どもの特性について研修等を行い、個別記録にも記録を残すようにしている。
19	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをおこない、気づいた点等を共有している。	4	1	1	0	翌朝のミーティングの時に、申し送りを行っていて、日誌に記録を残すようにしている。
20	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に努めている。	6	0	0	0	支援終了後には、一人ひとりの様子を振り返り、個人記録に残し次回の支援の改善に繋げている。
21	定期的にモニタリングをおこない、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。	6	0	0	0	6ヶ月毎（年2回実施、誕生月）
22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている。	5	1	0	0	5項目11領域を組み込んだ総合的な支援を行っている。
23	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜、組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している。	6	0	0	0	個別活動・小集団活動を取り入れている。
24	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している。	5	1	0	0	児童発達管理責任者が主に参加し、全体に共有するようにしている。
25	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	6	0	0	0	送迎で学校に行った際に、担任の先生と情報共有を行い、欠席の時やお迎えに変更がある場合は保護者からの連絡を受け対応している。
26	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えている。	1	1	3	1	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもの通所が今の所ない。
27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めている。	6	0	0	0	状況に応じて保育園や学校と担当者会議を開催し、情報共有を行っている。
28	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等との情報を提供する等している。	2	0	3	1	今の所、放課後等デイサービスを卒業し、障害福祉サービスに移行した子どもはいないが、今後、必要であれば情報共有をおこなっていく。
29	児童発達支援センターや発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	6	0	0	0	専門機関の主催する研修や見学会に幅広い職員が参加出来る様に調整していく。
30	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	0	0	6	0	地域の児童との交流はないが、学生や、一般人のボランティアを受け入れている。

関係機関や保護者との連携

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答		
	31	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっている。	3	2	0	1	連絡ノートや送迎時に情報共有を行っている。必要に応じて電話で対応し、家庭訪問や事業所等で相談援助を行っている。
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、障がいのない子どもと活動する機会がある。	5	1	0	0	今後検討していく。
	33	保護者の対応の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている。	4	1	1	0	必要に応じて、子育てや関係機関とのやり取りについて相談支援を行っている。
保護者への説明責任	34	運営規定、支援の内容、利用者負担額について丁寧な説明を行っている。	6	0	0	0	契約時や必要時（報酬改定に伴う変更があった場合など）に説明をおこなっている。
	35	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	5	1	0	0	保護者から困った事や相談があった時に、その都度対応している。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に対応している。	6	0	0	0	苦情等があった際は、主に児童発達支援管理責任者や責任者が対応し、内容については職員間で共有しその後の対応、対策については適宜検討し回答している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	6	0	0	0	長期休み終了時には、お便りを発行し、週1回 SNS（インスタグラム）を活用し情報発信を行っている。
	38	個人情報に十分注意している。	6	0	0	0	契約時に説明と同意を確認し、署名してもらい適切に取り扱っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	3	1	0	2	児童の特性に配慮し、視覚支援を活用して家庭と連携しながら支援を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っている。	0	1	4	1	今後、検討していく。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	6	0	0	0	マニュアルを整備しながら、より実務に即した、フロー図等を作成しており、訓練等も定期的に実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	6	0	0	0	長期休み期間に避難訓練の実施を決めて訓練を行っている。防災用品等も定期的に点検し補充している。
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	6	0	0	0	虐待防止委員会を設置し、年間研修予定に組み込み、研修内容を全職員で共有している。
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	6	0	0	0	事業所内に拘束を行う方針が無い為、未対応となっているが、身体拘束については職員間で研修を行って共有している。
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	2	2	0	2	食物アレルギーについては、契約時のアセスメントで確認しているが、事業所内では、おやつは家庭から用意してもらうようになっている為、食べ物の提供はしていない。ご利用中の児童の中で医師の指示書はないが、今後あれば指示書に基づき対応していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	
46	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	6	0	0	0	ヒヤリハット事例があった場合は、日々口頭で確認しながらミーティング内で議題に上げ、所定の用紙に記入し保管するようにしている。
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	6	0	0	0	契約時のアセスメント表に記載して頂いており、その都度確認している。